

教員情報

栗原 真孝 (KURIHARA Masataka)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 初等・中等（英語）教育専攻 児童生徒教育コース
職名	准教授

【学位・業績等】

有する学位	修士（教育学）
学位取得大学	早稲田大学大学院博士後期課程（単位取得満期退学）
主な担当科目	教育原理、現代社会とこどもの権利
専門分野	教育行政学、教育学、外国籍児童生徒の教育
主な研究テーマ	地方教育行政に関する研究 地方行政に関する研究 外国籍児童生徒を対象とする教育政策に関する研究 アメリカにおける移民の教育に関する研究
学会・社会活動	日本教育行政学会、関東教育学会、日本比較教育学会
主な業績 (教育・研究等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「人口減少社会における地方行政の現在—鹿児島県の新総合体育館建設の議論を中心として—」『新薩摩学 15』南方新社、2020年、345-362頁。 ・『新薩摩学 14 人口減少社会・鹿児島の教育のゆくえ』、南方新社、2020年。（共編著） ・「鹿児島県における戦後教育改革の受容」『新薩摩学 13』、南方新社、2018年、147-163頁。 ・「日本における教育課程改革の動向—学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂を中心にして—」『こども学研究』（鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要）、第9号、2017年、55-62頁。 ・「いのち・栄養・学校教育の諸問題—世界のこどもたちの「いま」について考える—」『新薩摩学 12』、南方新社、2016年、195-205頁。 ・「ニューヨーク市における英語能力が十分ではない児童生徒の実態—日本の外国籍児童生徒の教育への示唆—」『こども学研究』（鹿児島純心女子大学こども発達臨床センター紀要）、第8号、2016年、55-62頁。 ・「市町村長による県立高校教育政策への関与の実態—鹿児島県を事例として—」鹿児島純心女子大学国際人間学部編『国際人間学部紀要』第22号、2016年、67-83頁。 ・「日本における外国籍児童生徒を対象とする地方教育政策の実施状況」『比較教育学研究』第50号、2015年、3-23頁。 ・「異文化のなかの子ども・青年と教育行政 異文化にどう向き合うか」小松茂久編『教育行政学—教育ガバナンスの未来図』昭和堂、2013年、155-171頁。 ・「外国人の子どもの不就学問題に関する地方教育行政の可能性と限界」『関東教育学会紀要』第38号、2011年、27-38頁。